

東亜同文書院大学記念センター講演会

# 東亜同文書院大学から 愛知大学への発展

— たんなる継承か、それとも質的発展か —



日時 2009年3月14日(土) 14:00~16:00

会場 愛知大学豊橋校舎 本館5階 第4会議室

※豊橋鉄道渥美線「愛知大学前駅」下車すぐ

講師 大島隆雄氏 (愛知大学名誉教授)



大島隆雄氏

愛知大学は、日本の敗戦直後、廃校になった東亜同文書院大学の本間喜一学長を中心とする同大学の有志が推進者となり、中国に関する研究を受けついで創立された。その意味で愛大はすでに書院大学の継承校といえる十分な資格をもっている。では愛大は同文書院大学と同質の大学だろうか。それは明らかに違う。

講演者は、東亜同文書院から同大学への変化、そしてその愛大への発展を、日本の高等教育史のパラダイムから説明する。戦前・戦中、日本の高等教育には「国家主義」と「学問の研究・教育」という二元論が支配していた。同文書院が大学に昇格するにともない、この「国家主義」が際限なく肥大化して行き、ついにはその「学問の研究・教育」を圧殺していった。

そしてその後、愛知大学は、教育の「国家主義」を廃絶しようとしたCIE(民間情報教育局)の初期教育改革政策のもとで、「国家主義」に代わって「自由主義・民主主義」を導入し、それと「学問の研究・教育」とを組み合わせることによって、新しい質の大学を構築した。

●入場無料 どなたでもご自由にご参加下さい。 事前申込不要

お問い合わせ

愛知大学東亜同文書院大学記念センター／オープン・リサーチ・センター  
〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1 TEL (0532) 47-4139 FAX (0532) 47-4196  
E-mail tshien@ml.aichi-u.ac.jp

